

IR/経営

サステナビリティ

共創

2025.09.29

丸井グループ×nendoによる＜共創型コミュニケーション空間＞誕生～「共創HALL」に続き、このたび「共創LOUNGE」がオープン！

株式会社丸井グループ(本社:東京都中野区、代表取締役社長:青井 浩)は、世界的なデザインオフィスnendo(代表:佐藤オオキ)監修のもと、丸井グループ本社3Fの「共創HALL」に続き、同本社9Fに「共創LOUNGE」をオープンいたしました。両フロアの完成をもって、オープンかつ活発な対話を可能にする＜共創型コミュニケーション空間＞の誕生となります。

■＜共創型コミュニケーション空間＞がめざすもの

「共創HALL」



photo Takumi ota

「共創LOUNGE」



photo Takumi ota

「共創HALL」「共創LOUNGE」からなる＜共創型コミュニケーション空間＞は、当社の掲げるインパクトの一つ「働く人の『フロー』を生み出す社会の創出」を実現するべく誕生いたしました。

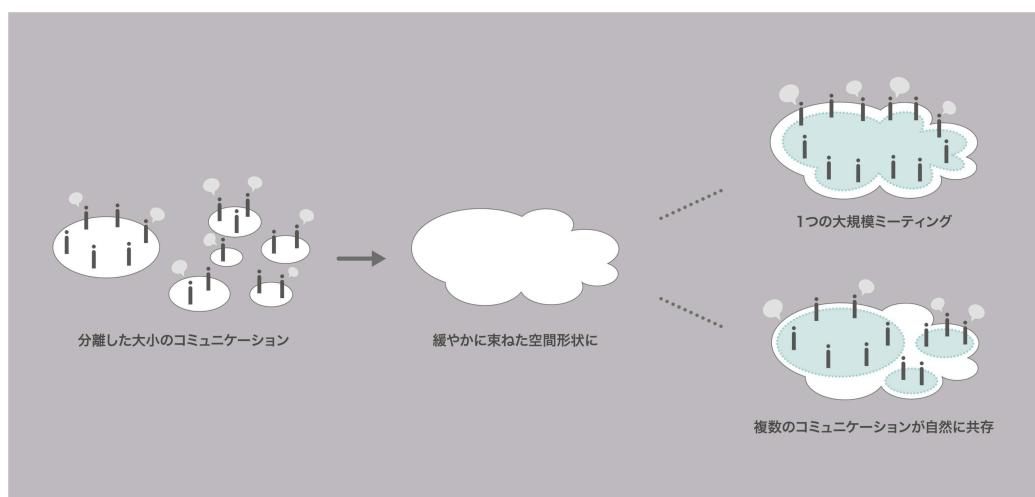
当社社員が、さまざまな規模で開催するイベント・対話のスペースや普段働くワークスペースとしてだけでなく、思い思いの時間が過ごせる場所にし、ハード面から、「働く人の『フロー』」の創出をバックアップしてまいります。

この空間により、当社にかかる方が「フロー」状態になることで、共創を加速させ、インパクトと利益の両立を実現に寄与することをめざします。

■空間デザインについて(nendo佐藤オオキ氏のコメント)

社内外の多様な人々や価値観が交わることで、新たなビジネスやアイデアを創出する＜共創型コミュニケーション＞を体現する空間が求められたことから、3Fに「共創HALL」、9Fに「共創LOUNGE」と呼ばれる2つのワークスペースを計画しました。

3Fの「共創HALL」は、さまざまな規模のセッションやセミナーに対応できるオープンな空間としています。通常であれば大空間を必要に応じて分割して使用しますが、あえて小規模な空間が緩やかにつながり、ひとつの大きな「場」となることを意図しました。その結果、複数の円弧状のベンチがかさなりあった「大きな雲」のようなデザインとなっています。



最大280人を収容可能で、イベントがない時間帯は社員のためのラウンジとしても機能しています。従来の縦方向のレイアウトではなく、登壇者と参加者の距離を近づける横方向の構成にしました。さらに、段差を設けた「求心型」の座席配置にすることで、参加者同士の視線を遮ることなく、会場全体の一体感を高めています。また、壁面や天井には吸音性を持たせ、話者の声を自然に届ける音響システム「ボイスリフト※」を導入しました。加えて、照明や音響、カメラなどもタブレット一つで一括制御できるようにしています。

※ボイスリフト：シーリングマイクで集音した話者の声を複数のスピーカーから出力し、話者が空間のどこにいてもすべての参加者に声が届くようにする仕組み

「共創HALL」



photo Takumi ota

丸井グループ×nendoによる“共創で未来を育むイノベーションの起点”「共創HALL」誕生

https://www.0101maruigroup.co.jp/nr/25_0718

9Fの「共創LOUNGE」は、3Fのデザイン要素を踏襲したワークスペースとしました。多様な人々が思い思いの時間を過ごしながらも、自然と一体感を感じられる空間をめざしています。最大200人が執務できるスペースに、4つの会議室とカフェ、展示コーナーを併設しました。さらに、20～40人規模のイベントが行えるフレキシブルなエリアを3カ所用意しています。壁面の本棚に並ぶ書籍は、社員へのインタビューをもとに選書しており、貸し出しも可能としました。

エリア「LIBRARY」



photo Takumi ota

エリア「GARDEN」



photo Takumi ota

エリア「TOWN」



photo Takumi ota

「共創CAFE」



photo Takumi ota

展示コーナー「縁側LABO」



photo Takumi ota

また、あまり活用されていなかった休憩スペースは、社員がリラックスできる「縁側GREEN」へとリニューアルしました。縁側をイメージしたベンチの足元には、庭の砂利をほうふつとさせる石と廃材の木を配合したテラゾー材を使用。さらに窓面を全面植栽とし、グリーンに包まれた空間としています。対面ではなく横並びに座ることで、緩やかなコミュニケーションが生まれることを狙いました。

最後に、3Fと9Fともに、照明の明るさや色温度は時間帯ごとに、香りは季節ごとに変化させることで、空間が均質化することを避けています。

「縁側GREEN」

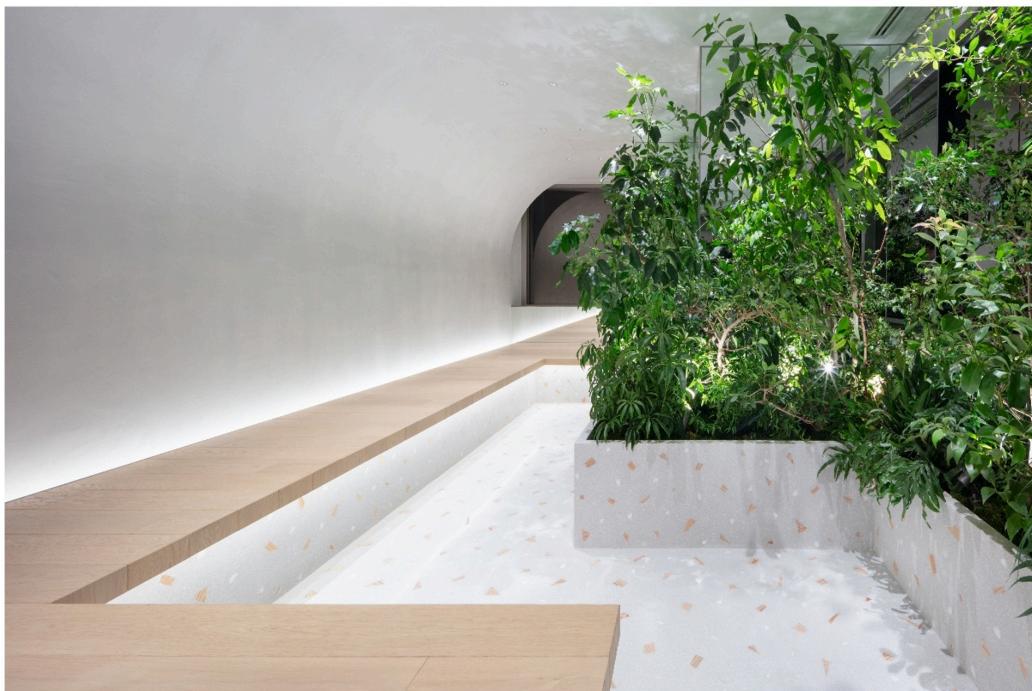


photo Takumi ota



nendo

2002年に佐藤オオキ氏を中心に設立された世界的デザインオフィス。
新規事業立ち上げやリブランディングなど大手企業と協業し、
幅広い領域においてデザインの力で新しい価値を生み出し続けている。

- works -

2021東京オリンピック 聖火台 / 2025年 大阪・関西万博 日本館 /
フランス高速鉄道TGV新型車両 など

■今後の活用予定

当社は、今回完成した＜共創型コミュニケーション空間＞を、社員のワークスペースとしてだけでなく、株主総会やワークショップなどといった多岐にわたるイベントを行う場としても活用していきます。

そして、この空間の活用を通じて、丸井グループの未来を担う重要な活動の展開に加え、新たな事業領域の拡大にも取り組んでまいります。

■ nendoの概要

商号:有限会社 nendo

本社所在地:東京オフィス 〒107-0052 東京都港区赤坂7-2-21 草月会館6F

代表電話:03(5414)3470

URL:<https://www.nendo.jp>

代表／チーフデザイナー:佐藤 オオキ

■ 丸井グループの概要

商号:株式会社 丸井グループ

本社所在地:〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2

代表電話:03(3384)0101

URL:<https://www.0101maruigroup.co.jp>

代表取締役社長:青井 浩

おもな関連会社:(株)エポスカード、(株)丸井、(株)エムアンドシーシステム ほか

本件に関するお問い合わせ先

株式会社丸井グループ 広報室

TEL:03(3384)0101(大代表) 10:00~18:00(水・日を除く) Mail:koho-media@0101.co.jp